

令和6年6月26日

東部農林水産振興センター農業振興部

標 題	初めてタマネギを栽培している法人でついに収穫を迎えました！！
-----	--------------------------------

(ダイジェスト)

松江管内では「水田園芸の拡大」としてタマネギの推進・拡大を図っているところです。管内のF法人では、ほ場整備を契機に令和7年産から20aでタマネギ栽培を開始し、この度無事に初収穫を終えることができました。今後、3haまで拡大していく意向があるため、引き続き関係機関と連携し、指導・支援を行っていきます。

令和5年2月に設立したF法人は、ほ場整備を契機に高収益作物として令和7年産からタマネギの栽培に取り組んでいます。今年産は試作として20a規模の面積で実践されました。初めての栽培ということもあり、収穫作業をどのように行うかわからないという声があったためチームタマネギ会議を開催し、動画や画像を使いながら収穫作業の流れの説明を行い、作業のイメージを持ってもらいました。

5月ごろから草が繁茂し、生育や収穫作業に影響が出そうな状況にあったため、ほ場整備協議会の総会に出席し、除草作業の意義や効果を説明しました。

会議の出席者からは、「収穫作業のイメージが湧いた」「雑草があんなに繁茂しているとは思っていなかった。良いタマネギができるようこれから除草作業に出役したい」といった声が出ました。その後すぐに園芸部主体で除草作業が実施され、ほ場の雑草がほとんどなくなり、タマネギの生育も順調になりました。

また、F法人は収穫機を持っていなかったため、今年産は農業技術センターの貸し出し制度を活用し、収穫作業を実施しました。会議で作業の流れを説明していたため、皆さん手際よく作業され想定より早く作業を終えることができました。(単収 約4.0t/10a 見込み)

今後、機械導入の検討や自家育苗によるコスト削減の実践、栽培技術の確立といった課題が多くあるため、引き続き関係機関と協力しながら継続的な支援を行っていきます。

更に農業振興部では法人の専従者だけでなく構成員全員にもタマネギ栽培の実情と管理について知って欲しいという思いで、今年度から定期的にたまねぎ通信を発行しています。これらを活用しながら、情報提供や管理指導を徹底していきます。



収穫指導の様子

たまねぎ通信 No.5

20250611 東部農振 川瀬・和田(電話32-5689)

中生品種の収穫が始まります。雨との戦いになりますが、頑張ってください。☺

【情報提供】☺

- ・**降雨後に雑草が繁茂しやすくなります。**新庄さんは、雑草の発生が少なくとてもいい管理をされています。しかし、他の地域では、この降雨で急激に雑草の発生がみられているほ場も散見されていますのでご注意ください。
- ・**県内全域でターザン、もみじでべと病、黒斑病、葉枯れ病が発生しています。**倒伏前に葉が黄色くなると肥大しにくくなりますので、ご注意ください。☺

【参考】6月病害虫発生予報 島根県病害虫防除所発表☺

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
野菜	タマネギ	べと病	平年並
		腐敗病・軟腐病	少ない やや少ない

今後の天候が、病害の発生を助長する可能性があります☺

たまねぎ通信

1	担当者	松江地域振興第課二課	川瀬貴大	TEL0852-32-5689
---	-----	------------	------	-----------------